

福岡県地域福祉活動職員連絡会研修会

対話を促進・可視化することで住民の主体性を育む ファシリテーション・ファシリテーショングラフィック

1 目的

地域福祉のキーワードは住民主体であると言われていています。私たち社協職員は、福祉教育をはじめとして、様々な関わりを住民と持ちながら住民の主体性を育てています。しかし、それだけでは不十分で、地域住民との会議に参加したことのある方は、必ずしも住民全員が主体的に関わっていないという印象を持っていることと推察します。

このような会議やワークショップへ住民に少しでも主体的に参加してもらうためには、参加する住民の考えが相互に理解されることが重要です。この住民の相互理解をもとに協議を行うことで、住民間で共通認識をつくることができます。

このような相互理解の促進や共通認識づくりのために使用できる技術の一つとして、ファシリテーションがあります。また、対話を可視化するファシリテーショングラフィックを行うことで、さらに住民間の相互理解や共通認識づくりを促進できます。

対話を促進・可視化することで場の活性化や相互理解、共通認識づくりをうながし、参加者の主体性を育む技術であるファシリテーション・ファシリテーショングラフィックへの理解を深め、対話を書く・描くことへの苦手感を克服すること、住民の主体性を育むために、自信をもって対話の促進・可視化ができる社協職員を増やすことの2点を目的に本研修会を開催します。

2 日時

令和8年3月6日（金）13時から17時（受付：12時45分～）

3 会場

クローバープラザ501研修室

4 対象者

地域福祉推進の現場で住民と関わる県内社協職員40名（先着順）

5 内容・講師

(1) 内容

講義①「住民の主体性を育むためのファシリテーションの基礎」

演習①「住民同士の対話を促進する～想いを受けとめ、考えを引き出す技術～」

講義②「住民の主体性を育むためのファシリテーショングラフィックの概要」

演習②「対話を可視化し整理する～意見を描いて整理する技術～」

演習③「ファシリテーション総合演習」

まとめ「住民と社協職員、ファシリテーションの技術と主体性」

(2) 講師

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会

災害復興委員会 平山 猛 氏

6 プログラム

時間	内容
12時45分～	受付
13時	開会
13時 ～13時05分	会長挨拶
13時05分 ～13時20分	オリエンテーション（アイスブレイク）
13時20分 ～14時30分	講義① 「住民の主体性を育むためのファシリテーションの基礎」 演習① 「住民同士の対話を促進する～想いを受けとめ、考えを引き出す技術～」 ペアに分かれて、傾聴と質問で対話を促進する演習を行います。
14時30分 ～14時40分	休憩
14時40分 ～15時40分	講義② 「住民の主体性を育むためのファシリテーショングラフィックの概要」 演習② 「対話を可視化し整理する～意見を描いて整理する技術～」 3人組に分かれて、ファシリテーターを交代しながら、対話を描きだし整理する演習を行います。
15時40分 ～15時50分	休憩
15時50分 ～16時30分	演習③「ファシリテーション総合演習」 グループ（5～6名）に分かれて、ここまで学んだことを使って、グループ全員で話し合い、納得できる結論を導き出す演習を行います。
16時30分 ～16時45分	まとめ「住民と社協職員、ファシリテーションの技術と主体性」
16時45分	閉会
16時45分 ～17時	片付け
17時30分～	情報交換会

7 申込み方法

令和8年2月16日（金）までに情報交換会の出欠も併せて、
下記 URL もしくは右二次元バーコードからお申し込みください。
なお、情報交換会の出欠回答の誤りが多発していますので、再度
ご確認の上お申し込みください。



<https://forms.office.com/r/cWW7r4NlrJ>

8 準備物

研修会当日、参加者1名につき、ホワイトボードマーカー(黒・青・赤)を1本ずつご持
参ください。

9 問い合わせ先

福津市社会福祉協議会 岩永

TEL：0940（34）3341

E-mail：fukushi@fukutsu-shakyo.or.jp

粕屋町社会福祉協議会 宮口

TEL：092（938）6844

E-mail：kasuya-shakyo@blue.ocn.ne.jp

宮若市社会福祉協議会 入江

TEL：0949（32）0335

E-mail：irie@miyawakashakyo.or.jp